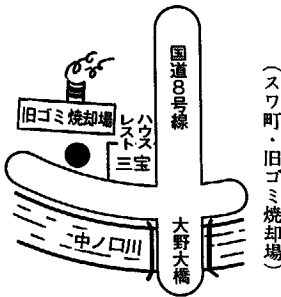


番外

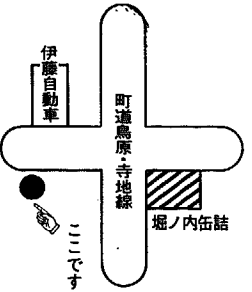
人権思想の啓蒙普及活動として
広報くろさき二二九号で「人権標
語」を募集したところ次の方々が
応募入選されましたのでお知らせ
致します。

入選
●優秀
人権を守る努力が身を守る
柳作 小林 弘
●優秀
人権擁護でつなごう
人の和町の和を
立仏 岡田よしみ

町有財産を処分 一般競争入札に



次の町有財産二件を売却するた
め一般競争入札に付します。
一、所在 大野三〇三四番一
土地——一六五平方メートル
建物——約六三・七二平方メ
ートル
（スワ町・旧ゴミ焼却場）



一、所在 鳥原字蓮方二五〇〇番
土地——一五六平方メートル
入札日 十一月九日(木)一時半
場所 役場
（注）入札当日は印鑑を持参下さい。
落札者は、保証金百分の十を
納入していただきます。
※詳細は総務課 電(7)3101へ。

○人権尊重は最高の道徳なり
興野 倉井 宗治
○明るい対話が理解を生み
豊かな町づくり
大野 小泉 和子
（尚入選者の表彰は後日行われる
予定です）

人権コーナー

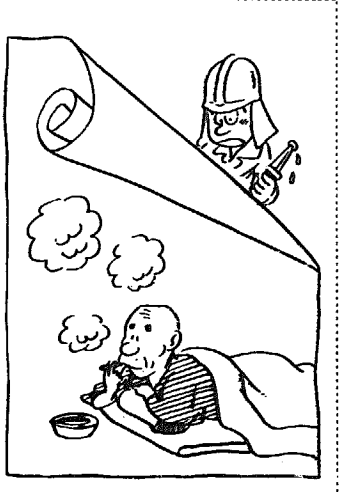
人権週間は十二月四日から十日
までの一週間です。皆さん週間の
意義を銘記し明るく住みよい社会
をつくりましょう。
○人権はみんなが持つもの
守るもの
○共存で咲く美しい人権の花

秋の全国火災予防運動 老人の犠牲が三五%にも

最近の火災による死者の傾向を
みて注目されるのは、老人の占め
る割合が増加していることです。
とくに寝たきり老人や、一人暮らし
し老人の死者が増えています。
昨年一年間の火災による死者十
九百九人のうち、六十一歳以上の
老人は六百六十四人で、前年に比
べて百人ふえており、全体に占め
る割合は三五%となっています。
老人が火災で亡くなるケースと
して多いのは、寝たばこの火の不
始末から寝具に燃え移り、煙に巻
かれて死亡—。

あるいは、一人でたき火をし
て、きものに火がついたが、体
が不自由なために消すことができ
ず、焼死してしまったなど、悲惨
な例がめだつています。
老人を火災から守るためには、
家族はもちろん、近隣住民の援助
や協力が何よりも必要です。
日ごろから次の点に気をつけて
老人を火災から守りましょう。
●老人は避難しやすい場所に寝か
せる—いざというとき、階下
の出入口近くがいちばん安全で
す。

●冬場にむかい、老人は部屋に閉
じこもり、ストーブなど暖房器
具を独占しがちです。器具の安
全な使用方法とその特性につい
て、よく説明しておきましょう。
●寝たきり老人で、やむをえず寝
たばこをする場合には、必ず
家族が付き添いましょう。



●老人の居室や寝具のまわりに、
新聞紙や紙くずなど燃えやすい
物を置かないようにしましよ
う。
●老人だけを残して外出する場合
は、必ず隣近所にひと声かけ
てから出かけるようにしましょう。

栗島探訪④

それが何時の事であったかを
釜谷部落の人に聞いて廻ったが
何代前の先祖かも知れぬのでな
った。又御神体も確認できな
く。木場の部落役員がわざわ
ざ釜谷へ行ったが、次郎兵衛さ
んに「神官がいなければ御開帳
は出来ない」と拝観を断られ
た由である。
愚考するに鑑湖の悪水抜の堀
割が完成したのが延享五年八月
（二七四八）であったが、六年後
には役に立たないで埋戻しをし

ている。木場の地内は閉塞川と
して昭和三十年まで用排水用と
して使用していた。その六年間
だけ木場の八幡様の附近を流れ
ていた川が小平方附近で堀割に
合流し鳥原水門から信濃川に流
入し更に海に注いでいた。
又現在町指定の文化財木場八
幡宮の本殿が一七〇〇年代に建
造され、現存の大きな御神体を
お祀りしている事から併せ考え
ると、木場村民が御神体の紛失
に気づき、御神体と本殿を建造
したのが延享一宝暦頃とする
よく符合するので、二百二十年

前とするのが妥当のようである。
木場村民が栗島の「流れの八幡」
の存在とそれが木場の御神体と
知るのは木場の人々が北海道と
の交易船で通うようになってか
らであろう。（木場の郷土誌「才
治郎の生チヨボ」参照）文久生
まれの人話など総合しても、
旧幕時代であった事は確かであ
る。とにかく、釜谷へは木場の
人達は幾度もお参りの度毎に訪
れた。三代前の参拝記念写真を
木場部落で見せられた事がある。
釜谷部落の人々が春の田植や
秋の稲刈作業に木場を始め、黒

鳥、北場に手伝に来てよく秋米
をもらって帰った。その習慣は
水田で脱穀するようになる昭和
四十五年頃まで続いた。それも
八幡様の取替つ縁であった。
私達は民宿の市左工門に一泊
した。賄の手伝に四人の女が来
たが（市左工門の一家衆）
全部黒鳥や木
場に来た事が
あり話がよく
弾んで楽しい
時を過ぎた。
（おわり）



喪中で欠札するというハガキを
もらった。どうするかというの
で、あるところで調べてみると、
「自分が喪中欠札のハガキを出し
たにもかかわらず、元日にはドッ
と年賀状が来ていました。でも喪
中なのにどうして賀状を下さるの
か」という思いはなく、やはり元旦
の賀状は嬉しく、ときには懐しい
人の名前もあつて心温まる思いが
しました」といった、喪中でも年
に一度の年賀状の配達嬉しいとい
う人が多かったそうです。
喪中欠札の通知をもらったら、
折り返しおくやみの手紙なり電話
なりして、はげますことが何より
大切なことのようにです。親しい人
だったらお通夜にもかけつけるわ
けですから、日ごろはあまり親し
いつきあいでなくても遠方にいる
人ならとくに手紙でおくやみをし
たりはげませんがどれほど力にな
るかかわりません。多忙な年末だ
けに喪中欠札の通知を受けても
そのまま打ち捨てておくことも多
いのですが、なることなら面倒が
らずにおくやみもいい、年賀状も
出すようにすることのほうが、現
代でも一般的ではないでしょうか。

「賀状」

喪中欠札を
もらったら

田の葉を燃やす煙に角田山彦の山は見えかくれつ
不況に都会に出る友人一人コスモスの咲く野辺に見送る
秋の悲愴イエスの愛と異れと真理は一つマヤ観音
ビンドレイの手ぶり腰ふりまねをする孫に笑ひが来るひととき
出荷者の顔もほころぶ今日の米釜一等の印を押されて
町と田の中間にある吾が屋根を晴れし朝々越えゆく
せきせきを埋めたる小さな土山に露草一本供えたりたり
西空のあかねさす雲背景に一連の雁渡り行きたり
葉の数はいくつもなきに金木犀今年も咲きて香りを放つ
ハイウェイを行き交う車とりどりに絶える間もなし今日の日曜
農業とタクシー勤めの弟は収穫終えてまた寝せたらし

十月歌会

短歌会

- 松沢 虎男
風間 法子
柏 直樹地
小林 弘
平松清次郎
酒井 庄平
阿部 浄子
小出美喜子
青木 留吉
西湯たみ子

定時登録による選挙人名簿登録者数

昭和53年9月10日現在

選挙区	自治会名	男	女	計	選挙区	自治会名	男	女	計		
第一投票区	金 巻	114	122	(235)	236	五投票区	上山田第一	190	199	(375)	389
	興野一	167	163	(325)	330		上山田第二	177	186	(347)	363
	興野二	128	133	(262)	261		上山田堤付	13	3	(18)	16
	興野三	132	147	(268)	279		下山田	80	99	(181)	179
	興野四	82	93	(150)	175		小 計	949	1,030	(1,920)	1,979
	小平方	100	115	(218)	215		板井一	109	118	(223)	227
	鳥原新田	69	71	(139)	140		板井二	86	87	(167)	173
	小 計	792	844	(1,597)	1,636		板井三	79	82	(157)	161
	川 原	45	53	(99)	98		板井四	140	136	(275)	276
	鳥原本村	179	201	(370)	380		小 計	414	423	(822)	837
第二投票区	鳥原大明	177	177	(300)	354	木場川前	109	105	(209)	214	
	蓮方団地	108	109	(207)	217	木場上組	198	217	(412)	415	
	鳥原新地	105	117	(221)	222	木場下組	181	196	(379)	377	
	新 町	138	161	(289)	299	木場八割	184	206	(386)	390	
	中学通	176	175	(342)	351	木場新田	179	205	(385)	384	
	諏訪町	197	229	(440)	426	小 計	851	929	(1,771)	1,780	
	小 計	1,125	1,222	(2,268)	2,347	黒鳥一	93	97	(186)	190	
	二之町	70	75	(155)	145	黒鳥二	59	50	(106)	109	
	五 区	122	125	(244)	247	黒鳥三	55	58	(111)	113	
	仲 町	61	71	(139)	132	黒鳥四	87	97	(183)	184	
第三投票区	七 区	111	126	(232)	237	黒鳥五	77	82	(164)	159	
	八 区	156	187	(350)	343	緒 立	33	42	(72)	75	
	新田町	185	214	(415)	399	北 場	89	89	(181)	178	
	栄 町	70	77	(142)	147	小 計	493	515	(1,003)	1,008	
	小 計	775	875	(1,677)	1,650	寺地本村	111	122	(207)	233	
	善久東	161	178	(338)	339	寺地中	135	135	(253)	270	
	善久西	217	220	(434)	437	寺地下	118	115	(218)	233	
	柳 作	160	170	(330)	330	寺地団地	191	206	(397)	397	
	小 計	538	568	(1,102)	1,106	小 計	555	578	(1,075)	1,133	
	立 仏	326	348	(637)	674	合 計	6,492	6,984	(13,235)	13,476	
焼酎団地	163	195	(362)	358							

(注) () 内の数字は、昭和52年9月10日現在の登録者数です。